

カレッジ里山 花実の森 活動報告(2024年6月) 第144号(抜粋)

活動日	時間	天候 (曇り)	記録者 (菅田)
2024年6月26日(水)	9:30~12:00		
参加者氏名	(6月26日) 清水、田路、小林、塩ノ谷、中原、樋口、南木、伊牟田、菅田		
作業内容	<p>もう一か所あるカブトムシ産卵場所に、イノシシ対策の金網木枠を取り付け。 里帰りササユリの生育経過観察。</p> <p>同上のイノシシ対策の金網木枠の補修作業。 成虫への羽化を考え、柵内にエサ(昆虫用ゼリー)を投入しておく。</p> <p>イベント当日に張る日よけブルーシート用引っ張り紐の設置と仮設。</p> <p>この日及び次の活動日に「シロマダラヘビ」が倉庫内の小物入れ内で見つかる</p>		



6月26日



7月15日

倉庫内の小引き出しを開けてビックリ！ ヘビがいた・・・。しかも2連続活動日に。2度とも同じ引き出しにくるまっていたのでまたビックリ。2度ともそっと引き出しから逃がしてやったが怖かった。物置の狭い隙間から入り込んだ模様。スマホで調べると【シロマダラ】というそうです。2匹は少しサイズの異なるものでしたが、同じ引き出しに入っていたとは・・・。おとなしかったのは、夜行性なので寝ていからかも？？？ そう言えば、別の里山整備のボランティア仲間からも「シロマダラ」を見たと聞いた。自然界では、今年はどうやらシロマダラの生息数が多い年らしい。

②シロマダラヘビについてしらべてみたところ

シロマダラは日本の固有種で、本州、四国、九州まで広く分布し、平地から山地まで様々な環境に生息している。成体は30~70cmで人の人差し指くらいの細身のヘビです。毒はないが攻撃的な性格で、噛みついてくる場合がある。

夜行性のため、目撲例が極端に少ないとから「幻のヘビ」と言われている。その希少性から生きたまま発見されることニュースになることもあるそうです。

③ついでに花実の森やその周辺でも見られるヘビについて

数少ない個人的な体験からの情報ですが、花実の森周辺や、しあわせの村内で見かけたヘビについて

- (1)マムシはP2, P3駐車場の側溝で何度か見かけました。
- (2)馬事公苑に馬糞をもらいに行ったときに、マムシ、ヤマカガシを見かけました。
- (3)花実の森内でも数度は名前の知らないヘビは見かけました。

日本に生息するヘビの中では、マムシとヤマカガシが毒蛇だそうです。特にヤマカガシは猛毒らしいので、これらも含めて見かけたときは刺激させないようにしましょう。